

平成23年 6月 3日更新

事務事業名	ふるさと融資関連事業	所属部	政策部	所属課	まちづくり戦略室
-------	------------	-----	-----	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は22年度の実績評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 ふるさと融資要望案件がなく、貸付事業に至らなかった。あくまで申請事業であり、景気や経済の状況にも左右されるが、制度そのもののPR不足も要因と考えられる。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】 市内に立地を希望する企業等に対する制度の周知は、県や財団が行っているが、市内商工業者及び市企業等連絡協議会を通じた周知を促進することで、問い合わせを増やし、要望案件を引き出すことで達成をめざす。 ☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 あくまで申請主義の事業であるが、制度周知により、事業者が本事業を活用して立地や増設等に取り組むことで、地域の振興につながり、活力と個性ある地域づくりにも寄与することとなり、向上の余地はある。 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 市が直接融資する制度的な融資はなく、民間金融機関が行う資金の貸付とは、趣旨が異なる無利子貸付制度であり、現時点では他に手段がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 財団と県、及び活用事業者等との橋渡しの業務であり、事業費の発生はない。ただし、制度活用が決定すれば、財政措置（歳入：市債、歳出：貸付金）が必要となる。 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 橋渡し役としての事業であり、人件費は、案件に応じて必要となり、削減の余地はない ☒ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 制度活用の受入れ体制は、要綱に基づき整えられ、機会も均等であり、公平公正である ☒ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 地域総合整備資金貸付要綱に基づく行政の役割が必要であり、適正である。 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

長らく経済情勢の低迷により、民間事業活動等の事業者が立地や増設等への意欲を持っていないことが背景にあると考えられ、平成21年度は、制度のPRも十分でなく、問い合わせ等の案件もなかった。貸付対象事業や貸付額など制度の詳しい説明等を行う機会を提供できなかったことが反省される。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☒事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><td colspan="2" rowspan="2"></td><td colspan="3">コスト</td></tr><tr><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								